



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



解答例

2022年7月11日夕刊

記事を読んで、問いに答えましょう。

参院選の女性当選者数は、選挙区21人、比例代表14人の計35人で、2016、19年の28人を上回り過去最多となった。当選者全体に占める女性の割合は28・0%と3割に迫った。候補者が181人へ大幅に増えたため当選率は19・3%にとどまり、過去2回を下回った。男性候補の24・7%も超えなかった。

党派別に見ると、自民党は19人中13人が議席を獲得し、当選率は68・4%に達した。女性候補の割合が55・2%で最も高かった共産党は32人中2人、51・0%で続いた。立憲民主党は26人中9人が当選した。

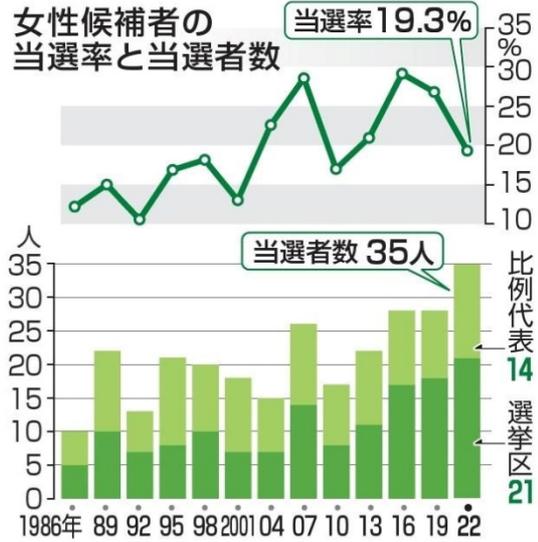
公明党は2人、日本維新の会は3人、国民民主党は2人、社民党は1人。れいわ新選組、NHK党、参政党は女性の当選者がいなかった。

選挙区では、32の改選1人区で6人が制した。改選数6の東京、4の大阪、2の茨城、静岡、広島では女性が半数を占めた。

今回は、社会党が「マドンナ旋風」を巻き起こした1989年の146人を上回る最多の女性が立候補。候補者全体に占める女性の割合も過去最高の33・2%となり、衆院選を含めた戦後の国政選挙で初めて3割を超えた。

16年は96人、19年は104人の女性が立候補し、当選率はそれぞれ29・2%と26・9%だった。

女性当選 最多35人



- ① 今回の参議院選挙で女性に関して過去最多となったのは何か。(**当選者数**)
- ② この選挙で当選者全体に占める女性の割合は何%か。(**28.0**)%
- ③ この選挙で立候補者全体に占める女性の割合は何%か。(**33.2**)%
- ④ この記事をふまえて、あなたは女性の政治参加についてどう考えるか。60字以内で書きなさい(句読点を含む)。

女性の当選者数や候補者の割合は増えてきたものの、半分にまで届かない状況であり、今後さらに増えていくことを期待したい。(58字)

女性の当選者数が話題になること自体にまだ課題があると言えるので、性別でなく、政策そのものが話題になることを願いたい。(58字)

政治家のリーダーに女性が増えることで、女性がいなくては政治が成り立たない状況が当たり前になることが望ましいと考える。(58字) など

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校/社会、総合)